



社会福祉法人 恩賜財団 済生会鹿児島病院



「広報誌」

済生かごしま

SAISEI KAGOSHIMA

〒892-0834 鹿児島市南林寺町1-11 ☎099-223-0101 FAX 099-227-4790

URL: <http://www.saiseikai-kagoshima.jp> E-mail: info@saiseikai-kagoshima.jp

今月の表紙



自由にお持ち帰り下さい

「コスモスを 離れし蝶に 谿深し」(水原秋桜子)さわやかな秋です! (鹿児島市都市農業センターにて) 撮影者: 中間忠治

診療時間のご案内

●受付時間 (月曜日～土曜日)

午前8時30分～午前11時45分 / 午後1時15分～午後4時50分

●診察時間 (月曜日～土曜日)

午前8時45分～午後0時15分 / 午後1時15分～午後5時00分

▶ 当院では各々の専門認定医による下記の専門外来も行っております。

腎臓専門外来	肝臓専門外来
循環器専門外来	消化器専門外来

※人間ドッグ随時受付
※渡航ワクチン接種実施
しております。(要予約)

交通のご案内

●市電 新屋敷電停から徒歩5分・天文館電停から徒歩10分

●市営バス (13番線) 松原小学校前バス停から徒歩1分
がんがら橋バス停から徒歩1分



No.26

霜月.2014

発行/済生会鹿児島病院

テーマ 聴覚障害者を対象にした模擬診療を実施しました

(一社) 鹿児島県聴覚障害者協会・(一社) 日本手話通訳士協会鹿児島県支部・鹿児島県手話通訳問題研究会・鹿児島県手話サークル連絡協議会と連携し、9月20・27日の両日、当院において「聴覚障害者向け健康講座」を開催しました。総勢43名の聴覚障害者や関係者の方々が来院されました。また、医療現場での手話通訳を勉強中の方もいらっしゃいました。

健康講座は、手話通訳を交えての説明となりました。全てが通常と異なり不慣れな中、身振り手振りを取り入れて講座が始まりました。初めに当院の中矢院長がスライドを使用して挨拶しました。続いて、地域医療連携室の米盛が「済生会を知っていますか?」、久保園内科部長が「自分の体を知ろう」についてスライドを使用して説明しました。参加者より、「心臓の位置は真ん中なんだ」「お腹の中にはたくさんの臓器があるんだ」などの感想が聞かれ、医学知識にとっても興味を持ってもらうことが出来ました。

スライド説明のあとは、数グループに分かれ診療の模擬体験を実施しました。

「医師による診察」と「看護師による問診」は会場のレイアウトを工夫し会議室にて、「内視鏡検査」「CT検査」はそれぞれの検査室内で行いました。

9月20日の第1回目は、当院の対応マニュアルをもとに聴覚障害者の診療及び検査の模擬を行いました。診察・問診の場面では、「自分の症状をうまく説明できない」「文章で説明されてもわからない」などの意見がありました。検査の場面では、CT検査の流れを実際に体験してもらいました。照明を消した時に



息を吸って止め、照明が点いたら呼吸を楽にするという照明を使った息止めの工夫に「検査の息止めの工夫は初めて体験した」との感想が聞かれました。また、「もう少し細かい指示まで説明が欲しかった」「説明のパンフレットはイラストや写真があったほうが見てわかりやすい」などの意見も聞かれました。

第1回目の職員の感想では、「筆談では対応に限界があると感じた」「細かい動作まで配慮することができていなかった」など、聴覚障害者の受け入れに対する準備不足の声が多く聞かれました。そこで、第1回目で挙げた問題点を参考に説明のパンフレットを追加・補足したり、医療現場で使う手話の一覧表を準備したり様々な工夫・改良を重ね、9月27日の第2回目の模擬診療に臨みました。

準備万端で臨んだ甲斐もあり、前回よりも円滑に模擬診療を進めることができスタッフ一同安堵の表情を浮かべました。しかし、細かい部分での意思疎通の問題は様々な場面でみられ、更なる努力が必要だと感じました。

最後に、今回の企画を通して聴覚障害者が病院を安心して受診することができるようにと開催しましたが、聴覚障害者の受け入れ時にどのような準備が必要かということのを再認識することが出来ました。前回の「外国人のための病院体験ツアー」と同様に、このような企画を実施することで、サービスの向上にもつながるのではないかと実感しました。



「なでしこ健康講座について」

毎月第4週目の午後3時より(月1回開催)

お気軽に
ご参加
ください♪



当院では、毎月第4週目に「なでしこ講座」を月1回開催しています。
どなたでも無料で参加できる勉強会です。

「病院の人の話は難しそう…」と思わずに、少しでも興味を持たれた方は、是非とも足をお運びください。専門的で難しい箇所もあるかもしれませんが、出来るだけ分かり易く丁寧な説明を心掛けています。どうぞお気軽にご参加ください。

1階受付またはお電話にてお申し込みをお待ちしております。(当日お申し込みもOK)

《お問い合わせ》 済生会鹿児島病院 地域医療連携室 ☎099-223-0101

SAISEI KAGOSHIMA



～インフルエンザとは～

インフルエンザとは、“インフルエンザウイルス”によって引き起こされる感染症です。

2009年の冬までは、2つのA型インフルエンザ(A香港型、Aソ連型)とB型インフルエンザをあわせて3つの型のインフルエンザが流行していました。2009年春からは、それらに加え新型インフルエンザ(AH1pdm09)が流行し、世界中に広がりました。インフルエンザにかかると、1-4日を潜伏期間として、38℃以上の急な発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感などの全身症状が強く現れ、あわせて鼻水、咳、のどの痛みなどの症状もみられます。嘔吐や下痢などの消化器

症状がみられる場合もあります。

高齢の方、基礎疾患(慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病、腎機能障害など)を持つ方、妊娠中の方、乳幼児がインフルエンザにかかると、気管支炎、肺炎などを併発し重症化することがあります。

予防するには、外出時のマスク着用や帰宅時のうがい、手洗いの励行、ワクチンが勧められます。

当院では、10月14日より、インフルエンザワクチンの接種を開始しています。詳しくは、職員までお尋ねください。



■ 外来担当医表

外 来	初 診	月	火	水	木	金	土
	再 診	坂本	徳田	中矢	柚木	岡	鳥丸
健 診	中矢 坂本 (午前のみ)	徳田	中矢・坂本	柚木	岡	中矢 鳥丸 (午前のみ)	
心工コ一	岡	中矢	徳田	鳥丸	柚木	坂本	
透 析		坂本		坂本			
内視鏡・工コ一	徳田・柚木	柚木	岡	岡	徳田	透析当番医	
	久保園・鳥丸	鳥丸	久保園・鳥丸	久保園	久保園	久保園	

※何かわからないことが
ありましたら、遠慮なく
看護師におたずね下さい。

基本理念

「救療済生」の済生会精神に則り、地域の人々の健康を守り、福祉に貢献する。

基本方針

- ① 私達は、患者様から信頼され、満足していただける医療を目指して、常に患者様の立場に立ち、患者様の気持ちになって医療を行います。
- ② 私達は、患者様の権利を尊重し、患者様の意思に添えるよう努めます。
- ③ 私達は、常に医療に気を配り、患者様が安心して医療を受けられるよう努力します。
- ④ 私達は、最新の医学知識や医療技術の習得に研鑽します。
- ⑤ 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が病院に求めている要望に応えられるよう努力します。

患者の権利と責務

「患者様には、守られるべき次の権利があります。」

- ① その人格を尊重される権利があります。
- ② 社会的地位・国籍・人種・性別などにより差別をうけることなく、公平・平等に医療を受ける権利があります。
- ③ いつでも最善の医療を受ける権利があります。
- ④ 自分が受けている医療の安全に関するすべての情報について知る権利があります。
- ⑤ 治療を受ける権利、自ら治療方法を選ぶ権利、また自ら治療を拒否する権利があります。
- ⑥ 自分に関するすべての個人的秘密を守ってもらう権利があります。
- ⑦ 自分の受ける医療についてセカンド・オピニオン(別の医師の意見)を申し出る権利があります。

「患者様には、次の責務があります。」

- ① 診療行為に協力すること。
- ② 療養に専念すること。
- ③ 病院の決まりを守ること。